

こんにちは!長岡市議会議員の松野けんいちろうです。

新型ウイルス感染症が猛威を振るっている状況は一年経過した現在も変わりありません。そして、新型ウイルス感染症の再拡大が懸念される中、感染力が強いとされる変異株の存在や第5波の拡大も気になるところです。

長岡市においても新型ウイルス感染症のワクチン接種が始まっておりますが、これまでと同様にマスク・手洗い・うがいなどできることをしっかり実行することが最も大切です。

2021年3月定例会での一般質問でも理事者側に提案しながら

【 大規模災害時の停電対応等について 】と

【 高齢者の健康を守る取組について 】質しました。

引き続き、ウイルス禍においても地域に貢献できるよう取り組んでまいりますので、ご一読を賜ればと存じます。



松野憲一郎

長岡市議会議員

2021年 3月定例会-般質問 I、大規模災害時の停電対応等について

2019年台風15号、19号と立て続けに東日本に上陸し、最大93万戸で停電が発生。この台風では停電が長期化したことにより断水や通信障害など二次的な影響も出ました。

局所的に電気設備技術基準を上回る強風が吹いた可能性が高く、暴風雨によって倒木も相次ぎ、電柱の倒壊は2000本を超えたのです。特に山間部では倒木が道路をふさぎ、復旧作業に入れない地域が続出したと言われております。こうした大規模災害時などで<u>市民生活と安全を確保</u>するために電力設備の迅速かつ円滑な復旧はその後の復旧・復興に大きな影響を及ぼすことから質問いたしました。

Q. 多様なインフラ事業者との連携に対する市の認識について

【答弁者:磯田市長】

A. 近年多発する大規模災害に対し、行政機関と民間企業、消防団や自主防災会等の地域住民、ボランティアなどと多様な関係者が一丸となって、総力を挙げて救助、復旧に取り組むことが必要だと考えている。長岡市では、自治体や民間企業などとの間で応援派遣や物資の提供、供給、輸送、情報通信の確保など、およそ100件に及ぶ災害協定を締結し、万一に備えている。特に、電気、ガス、通信、交通など社会基盤の迅速な復旧は市民生活の安全と安心、を確保し、復興を加速するために欠かせないものであることから、復旧に当たるインフラ事業者との連携は災害対策の重要なポイントであると認識している。

Q. 本市におけるインフラ事業者のプッシュ型支援の受け入れ態勢について

【答弁者:磯田市長】

A. 全国のインフラ事業者が被災地に駆け付け、人海戦術で一斉に復旧を進めるプッシュ型支援については本市も大きな期待を寄せている。市としても、出動の拠点となる候補地の選定、的確な情報提供、復旧に当たるインフラ事業者を 最大限支援することなどが重要であると認識している。

Q. 避難所の停電対策について

【答弁者:危機管理防災本部長】

A. 避難所の停電対策を強化する必要があると考えている。今年度、全ての避難場所にLEDランタンを複数配備し、安全な避難に必要となる最低限の照明を確保する。また、249カ所の避難場所のうち現在地区の拠点となる地区防災センターなど78カ所には発電設備を用意してあるが、残りの避難場所についても令和3年度から3年間で非常用発電機を順次計画的に配備し、停電対策を強化する。

2021年 3月定例会一般質問 2、高齢者の健康を守る取組について

2020年緊急事態宣言が発出された時期は、ステイホームということで家にいる機会が増加しております。

【筋肉は裏切らない】という言葉も良く耳にしたのもこの時期であります。筋肉を鍛える運動は老化防止に大きく役立ち、 体力維持のためにエクササイズをしたいと考えている高齢者も多いのではないのでしょうか。

このウイルス禍で、外出を控えることで、運動不足になり高齢者の健康や体力、筋力がかなり低下し、健康にも被害が出ていると考え質問いたしました。

Q. 新型ウイルス感染症が拡大し1年が経過するが、運動不足による高齢者への影響について

A.外出自粛などにより生活不活発となると、運動機能や認知機能低下という健康への影響が危惧される。介護事業所 や高齢者のご家族の話などから健康不安の声が聞かれているが、介護認定数や認知症新規患者数等に顕著な増加 は見られない状況である。 【答弁者:福祉保健部長】

Q. 介護予防教室やサークル活動の実施に対し無関心層も存在するが、現在の介護予防活動について

A. 新型ウイルス感染症拡大当初は休止していたが、運動機能向上、認知症予防、栄養、口腔機能や心の健康などの市 主催の介護予防教室や地域で自主的に介護予防活動を行う団体への講師派遣などの支援については新しい生活 様式に基づいたルールを徹底し感染症予防に留意しながら再開している。 【答弁者:福祉保健部長】

Q. ウイルス禍での高齢者に対する健康を守る取組について

A. 新型ウイルス感染症の影響が続く中で、介護予防活動を継続的に実施していくとともに、家庭においても簡単に実施できる転倒予防や健康づくりを目的とした『ながおか元気体操』の動画提供を準備している。議員ご指摘の自らの筋力、体力を知る取組としては、『はつらつ教室』の参加者などに足腰元気度測定を実施しており、引き続き参加者の拡大に取り組むこととしている。併せて、各種事業に参加していない無関心層の掘り起こしや新型ウイルスの影響で活動を自粛していた方の活動再開を促すため、電話、メール等での他者との交流や散歩等による外出推奨するなど、高齢者の機能低下を招かないよう介護予防の周知、啓発も行っていく。

【答弁者:福祉保健部長】

2021年 3月定例会常任委員会 産業市民委員会での質問項目

- ●子どもの見守りにIotタグを活用し、安全・安心な地域づくりの実証試験結果について
 - ●地域と市などが連携して防犯や交通安全の情報を共有する 安全・安心なまちづくりがスタートしているが、現在の取組状況と今後について

